

## 資料配布の場所

1. 国土交通記者会
  2. 国土交通省建設専門紙記者会
  3. 国土交通省交通運輸記者会
  4. 筑波研究学園都市記者会
  5. 横須賀市政記者クラブ
- 令和元年 11 月 15 日同時配布



令和元年 11 月 15 日  
国土技術政策総合研究所

## 令和元年度国総研講演会

～今年のメインテーマは「社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展」～

- ・国総研は、12月3日（火）に国総研講演会を開催します。
- ・講演会メインテーマは、「社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展」。
- ・オフィス・ウスイ代表/NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事 臼井純子氏による特別講演、国総研の研究者によるパネルディスカッションと講演をメインテーマに沿って実施します。
- ・講演会冒頭で令和元年台風第19号等に関する調査の報告を行います。

1. 日時： 令和元年 12 月 3 日（火） 10：00～17：00
2. 場所： 日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋 2-6-2）
3. プログラム： 詳細は別添資料参照
  - ①報告「令和元年台風第 19 号等について」（10：10～10：50）
  - ②セッション 1（10：50～11：50）  
令和元年度に国総研が取り組んでいる研究に関する一般講演
  - ③ポスター展示（コアタイム 12：20～13：20）
  - ④セッション 2「社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展」  
特別講演（13：20～14：20）  
オフィス・ウスイ代表/NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事 臼井純子  
パネルディスカッション（14：35～16：05）  
一般講演（16：15～16：55）
4. 単位認定： 土木学会 CPD プログラム（6.4 単位）
5. 参加申込み： 定員 800 名（申し込み先着順：入場無料）  
「国総研」のホームページからお申込みください。  
URL) <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2019/kouenkai2019.htm>
5. 報道機関の皆様へ：  
講演会当日に取材を希望される場合は、11月29日（金）午前中までに別紙（FAX 用紙）にてお申し込みください。

## 【問い合わせ先】

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部 企画課 主任研究官 長屋、研究官 稲見  
TEL:029-864-7619 FAX:029-864-1527 E-Mail: nil-kouenkai2019@mlit.go.jp

# 「令和元年度国総研講演会」プログラム

1. 日時： 令和元年12月3日（火）10：00～17：00  
 2. 場所： 日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

時間	所属・氏名	タイトル・概要	講演時間
10:00～10:10	国総研所長 伊藤 正秀	開会の挨拶	0:10
報告「令和元年台風第19号等について」			
10:10～10:50	企画部長 野崎 智文（10分） 河川研究部長 佐々木 隆（15分） 土砂災害研究部長 西井 洋史（15分）	令和元年台風第19号等に関する被害・現地調査の概要について速報するとともに、防災・減災における国総研の役割等を紹介する。	0:40
セッション1（令和元年度に国総研が取り組んでいる研究に関する一般講演）			
10:50～11:10	建築研究部 建築新技術統括研究官 小山 信	【建築物の設計用入力地震動の考え方】 設計用入力地震動・地震荷重は、地震被害とそれより得た教訓を取り込んだ改正（強化）を繰返して現在に至っている。講演では建築物の設計用入力地震動と、今後求められる地震後の機能継続を考える際の地震力や設計について紹介する。	0:20
11:10～11:30	住宅研究部長 山海 敏弘	【住宅・建築物における被災後の機能継続（BCP）・生活継続（LCP）】 国総研は、被災後における拠点的な建築物の機能継続能力の向上を実現するため、主に地震と地震に伴う津波によるライフライン被害を想定し、建築物・建築設備の計画・設計上配慮すべき事項を取りまとめ、災害拠点建築物の設計ガイドライン（平成29年3月）として公表している。しかし最近、ブラックアウトや風水害に伴う大規模・長期間に渡る停電・断水等、従前の想定と異なる災害が多発しており、様々な問題に対応する必要があると考えられる。本講演では、住宅・建築物のライフライン被害への対応における基本的な考え方について、BCP、LCPの両面から概説する。	0:20
11:30～11:50	沿岸海洋・防災研究部長 高田 直和	【沿岸海洋・防災に関する研究の動向】 沿岸海洋・防災に関する最近の研究の動向を紹介する。地震、津波、台風、高潮等毎年のように発生し被災状況も厳しくなっている中、沿岸地域で防災の対策をしていく重要性はますます高くなっている。強靱な国土、安心・安全を支える研究テーマの中で、港湾を核とする沿岸地域の安全性や防災力を向上するための基礎的な研究として海洋・防災研究部が取り組んでいる課題やその周辺状況の動向について解説する。	0:20
11:50～13:20	（休憩）	【ポスター展示（12：20～13：20）】 国総研の令和元年度の主な取組についてポスター展示発表を行います。	1:30
セッション2「社会資本ストックの維持・更新・活用と地域の発展」			
13:20～14:20	オフィス・ウスイ代表/NPO 法人日本風景街道コミュニ ティ理事 臼井 純子	【特別講演】 シーニックバイウェイ北海道・日本風景街道による地域活性化	1:00
14:20～14:35	休憩（15分）		0:15
14:35～16:05	パネルディスカッション コーディネーター：社会資本マネジメント研究センター長 清水 晃 パネリスト：下水道研究部長 岡本 誠一郎 道路交通研究部長 福島 眞司 都市研究部長 中西 浩 港湾研究部長 高野 誠紀		1:30
16:05～16:15	休憩（10分）		0:10
16:15～16:35	空港研究部長 水上 純一	【空港技術に関する研究の動向～基準体系の見直しと今後の展望～】 空港研究部で行っている空港土木施設の設計および維持・管理に関連する研究について紹介する。特に本年4月の空港土木施設の技術基準体系の見直しの概要を解説するとともに今後の研究の方向性について紹介する。	0:20
16:35～16:55	道路構造物研究部長 木村 嘉富	【道路構造物における新技術活用に向けて～ほめて起こそうイノベーション～】 平成26年度から始められたトンネルや橋梁等の定期点検が2巡目に入った。点検の効率化や診断高度化、合理的な補修・補強・更新の実施のためには、新技術の活用が不可欠である。道路構造物における新技術活用の方向性と取り組みについて紹介する。	0:20
16:55～17:00	国総研副所長 諸星 一信	閉会の挨拶	0:05

国土交通省 国土技術政策総合研究所  
企画部 企画課 あて  
(FAX 029-864-1527)

「令和元年度国総研講演会」の取材を申し込みます。

会社名・所属

---

氏名

---

連絡先

---

※11月29日（金）午前中までにご連絡願います。